

■活動開始年月:2019年3月

■企業ボランティアの人数(実数): 209名

### ■SAP ジャパンの CSR 活動

SAP ジャパン株式会社(以下、SAP)の CSR 活動は、テクノロジー、タレント、パートナーシップを活用し、次世代のキャリア育成や地方創生などにつながるイノベティブな社会事業の構築やトレーニングとキャリア開発プログラムを通じた社会課題解決のための活動に注力しています。また、教育現場を支援しているパートナー団体と連携して、次世代育成活動の一環として、様々な支援プログラムを提供しています。

### ■ボール型ロボットを動かすセッション

中でも、STEM 教育やプログラミング的思考スキルを身に着け、向上させるツールとして、ビジュアルプログラミング言語を使ったボール型ロボットを動かすセッションを 2016 年 10 月から実施。子どもたちがプログラミングを楽しく学びながら、プログラミング的思考力、行動力、デジタルリテラシー、探求心を高めてもらうことを目的としています。

コンテンツは、楽しくプログラミングを体験する要素だけでなく、チームで取り組む参加形式とし、STEAM 教育(※)要素以外に、コミュニケーションやチームワークスキルを育むことができるように実施してきました。福島県内で開催するビジュアルプログラミングセッションとして、2020 年 2 月までに小学生～中学生、延べ 820 名にプログラミングを楽しく体験し、学んでもらいました。

※STEM 教育(ステムきょういく)とは、“Science, Technology, Engineering and Mathematics” すなわち科学・技術・工学・数学の教育分野を総称する語である。2000 年代に米国で始まった教育モデル。



### ■オンラインでのプログラミングセッションの実現

また、コロナ禍の 2020 年 7 月からは、登録不要で、ブラウザからアクセスすればビジュアルプログラミングができるという、SAP が開発に携わった『Snap!』を学習ツールとして用いて、オンラインで実施可能な活動へ移行。様々なモノ・コトがオンラインへ移行する中、下記 2 団体と密に連携し、いち早くオンラインでのプログラミングセッションの実現を実現しました。

#### ○一般社団法人 あすびと福島

あすびと福島はプログラミングセッションを中心に、幅広い分野の団体と連携し、福島復興への次世代育成活動に取り組んでいます。2019 年から定期的に福島に赴き、小中学生向けにビジュアルプログラミングセッションを実施。コロナ禍の 2020 年 7 月からは親子参加型のオンラインプログラミングセッションとして、参加者はあすびと福島の施設に集まり102名の SAP ボランティアメンバーがオンラインで参加者のプログラミング体験をサポートする形式で実施し、地元の小中学生と保護者は 130 名以上にご参加いただきました。

#### ○特定非営利活動法人 みんなのコード

みんなのコードは、2019 年度より SAP とパートナーシップを締結し、SAP の CSR 活動の一環として、全国の小・中・高校生がコンピューターサイエンスやテクノロジーに関する学びを深める目的とした支援活動で連携しています。

ビジュアルプログラミングでボール型ロボットを動かす『Sphero』や、ウェブブラウザ上で絵を描いたり、動かしたりする『Snap!』を使い、SAP ボランティアメンバーが全国各地の小学生にプログラミングが楽しい学びの体験となる支援をしています。これまでに 10 都道府県、のべ 270 名以上へ向けセッションを連携して実施しました。

#### ■多くのボランティア社員が参加

コロナ禍の 2020 年 2 月以降、オンラインセッションで総勢 140 名の有志社員が講師や子供たちの学びを手伝うボランティアとして参加。弊社の CSR 担当チームは、より多くの社員が気軽に参加できるように、企画・運営準備を行い、実施にあたってはボランティアメンバー、そして、参加する子供たちが戸惑うことなく、円滑にセッションが実施できるように努めています。また、プログラミングの専門スキルをもつ社員がセッションコンテンツ作成をリードし、ブラッシュアップすることにより、IT 企業としてのリソース活用と参加者へのより良いプログラミング体験コンテンツを提供することが実現できています。



第7回企業ボランティア・アワード大賞